

○喫煙等を禁止する場所及び火災予防上危険な物品の指定について

平成11年 4月 1日
高広振組消防局告示第1号

高崎市等広域市町村圏振興整備組合火災予防条例（平成11年高崎市等広域市町村圏振興整備組合条例第12号。以下「条例」という。）第33条第1項の規定により、喫煙等を禁止する場所及び火災予防上危険な物品（以下「危険物品」という。）として次のとおり指定する。

（喫煙等禁止場所の指定）

第1条 喫煙し、若しくは裸火を使用し、又は危険物品を持ち込んで서는ならない場所は、消防法施行令（昭和36年政令第37号。以下「令」という。）第1条の防火対象物のうち次に掲げる場所とする。

- （1）劇場、映画館又は演芸場の客席及び舞台
- （2）観覧場の舞台及び客席（喫煙にあつては、屋外の客席及びすべての床が不燃材料で作られた客席を除く。）
- （3）公会堂又は集会場（住民組織設置管理に係る集会場を除く。以下同じ。）の舞台及び客席（喫煙にあつては、喫煙設備のある客席を除く。）
- （4）キャバレー、ナイトクラブ、ダンスホール又は飲食店の舞台（高さが50センチメートル以下で、かつ、面積が3平方メートル以下のものは除く。）
- （5）百貨店又は延べ面積1,000平方メートル以上の大規模な小売店舗の売場（食堂の部分を除く。）
- （6）映画スタジオ又はテレビスタジオの撮影用セットを設ける部分
- （7）自動車車庫又は駐車場（危険物品については除く。）
- （8）屋内展示場で公衆の出入する部分

2 危険物品を持ち込んで서는ならない場所は、令第1条の防火対象物のうち次に掲げる場所とする。

- （1）劇場、映画館、演芸場、観覧場、公会堂又は集会場（前項第1号から第3号までに掲げる場所を除く。）の公衆の出入する部分
- （2）キャバレー、カフェー、ナイトクラブ、ダンスホール又は飲食店で、公衆の出入する部分の床面積の合計が100平方メートル以上のもの
- （3）車両の停車場又は船舶若しくは航空機の発着場（旅客の乗降又は待合の用に供する建築物に限る。）

（危険物品の指定）

第2条 条例第33条第1項による危険物品は、次に掲げるものとする。（常時携帯するもので軽易なものを除く。）

- （1）消防法（昭和23年法律第186号）別表に定める危険物
- （2）可燃性固体類（条例別表第8備考第5号に規定する可燃性固体類）及び可燃性液体類（条例別表第8備考第7号に規定する可燃性液体類）
- （3）一般高圧ガス保安規則（昭和41年通商産業省令第53号）第2条第1号に定める可燃性ガス
- （4）火薬類取締法（昭和25年法律第149号）第2条第1項に定める火薬類及び同条第2項に定めるがん具煙火

附 則

この告示は、告示の日から施行する。